

広店調剤



8月5日、主人と友人数名が山口県萩市にある「須佐ホルンフェルス」と長門市にある「元乃隅稲成神社」へ行きました。私は、この暑さと年齢のためか、体調を崩しかけていたので、しぶしぶ家に残りました。元乃隅稲成神社は、ふつう「稲荷神社」と記しますが、この神社は「稲成神社」と記します。これは津和野町にある太鼓谷稲成神社から分霊されて、建立されたためであり、商売繁盛、大漁、海上安全はもとより、良縁、子宝、開運、学業成就、願望成就の大神として信仰を集めています。神社から日本海側に見下ろした先には、断崖下の海蝕洞に荒波が打ち付ける度に、海水が中の空気と一緒に吹き上がる現象が見られる「龍宮の潮吹」があり、龍宮と神社の間に123基の朱色の鳥居が100m以上に渡り並んでいる。とても美しく雄大で見ごたえ十分だったそうです。須佐ジオクルージングでは、約1億年前の火山活動によりできた「屏風岩」や日本海の形が出来上がった約1650万年前、洪水などによって日本海で堆積した地層、その中に入り込んだマグマの熱で焼かれたホルンフェルス等、大自然の景観はとても素晴らしかったそうです。ホルンフェルスとは、地中の熱や圧力によって変化した岩の一種。海底に降り積もった砂や泥が長い年月をかけてマグマの力で違う岩に生まれ変わったもの。そのマグマの力を「変成作用（熱変性）」という。そのマグマの力を持っていたのが、須佐湾の後ろにそびえる標高532.8mの高山（こうやま）。高山は火山の一種で、頂上付近には「磁石石」と呼ばれる岩があります。ホルンフェルスはドイツ語で「角

の岩」という意味。とても硬く割るとガラスのように角張ることがこの名前の由来。この須佐はホルンフェルスを間近に観察できる全国でも珍しい場所です。もう少し気候の良い時に訪問したいですね。



の岩」という意味。とても硬く割るとガラスのように角張ることがこの名前の由来。この須佐はホルンフェルスを間近に観察できる全国でも珍しい場所です。もう少し気候の良い時に訪問したいですね。

三津田店調剤



こんにちは、三津田店薬剤師の隠塚（おんつか）です。今年の夏は豪雨から始まりバタバタしているうちに秋になった印象です。皆様のお手元にマリン通信が届く頃にはこの暑さはさすがに和らいでいるでしょうか？今年のお盆は、父のふるさと鳥取県を父と二人でのんびり端から端まで尋ねてきました。小さい頃はお盆・正月には祖母に会いに行っていました。最近はずっくり滞在出来ていませんでした。子供の頃の鳥取県の印象と大人になって尋ねた印象はまた違うものがあった新鮮でした。父とワイワイ言いながらの旅もなかなかのものでした。その中で印象に残った場所の紹介をします。まず**三徳山三佛寺**。三徳山は修行の場所であり、木の根や岩をよじ登る等、場所によっては多少険しい箇所があるそうで、滑落事故等が多発の為、国宝の投入堂参拝登山を希望する場合は、主に服装と靴のチェックがあります。靴が理由で入山許可が下りない場合、わらじに履き替える事で入山許可が下りる場合があるそうです。私には無理そうなので本堂をお参りし、投入堂は下から拝みました。いつか体力に自信があるときに挑戦したいと思います。たまたま大山でお盆の時期に開催される「**大山の和傘ライトアップ**」のことで行ってきました。久しぶりに行った大山寺参道は、おしゃれなお店や日帰り温泉・足湯などが出来ていてびっくりしました。和傘ライトアップの整理券を兼ねた入場チケットを購入するために入場4時間前から並びました。大山寺参道が献灯の明かりに照らされ、和傘で幻想的な雰囲気

に包まれ、並んだかきがありました。来年も機会があれば行きたいと思います。



に包まれ、並んだかきがありました。来年も機会があれば行きたいと思います。